

## 花巻市中学校部活動の地域移行について

- 1 部活動の地域移行をめぐる経緯の概要について
- 2 国の検討会議提言について
- 3 市内中学校部活動の現状と課題
- 4 花巻市における部活動の地域移行について
- 5 部活動の在り方検討会議における検討課題

令和4年12月23日  
学校教育課

# 花巻市中学校部活動の地域移行について

学校教育課

## 1 部活動の地域移行をめぐる経緯の概要

### 平成 30 年 3 月 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁）

学校の運動部活動改革に向けた具体の取組について示すとともに、従来の学校単位での活動から一定規模の地域単位での活動も視野に入れた体制の構築が求められる。

### 令和 2 年 3 月 「花巻市部活動等の在り方に関する基本方針」（改定）

少子化が進展する中、従前と同様の運営体制では部活動の維持が難しくなっていることから、今日の部活動改革等の動向を踏まえ、今後「学校と地域が協働・融合」した形での地域におけるスポーツ・芸術文化活動のための環境整備を進めることとする。

### 令和 2 年 9 月 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（文部科学省）【資料 1】

「学校と地域が協働・融合」した部活動実現のスケジュールとして、「令和 5 年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする」ことが示される。

### 令和 4 年 6 月 「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」（スポーツ庁）

スポーツ庁、文化庁にそれぞれ設置された検討会議が、令和 5 年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行を着実に実施するなど、部活動改革の方向性や課題への対応等について提言をとりまとめる。（「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」（文化庁）は令和 4 年 8 月公表）

## 2 スポーツ庁・文化庁の提言について【資料 2】

### (1) 方向性

少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術等に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校の運動部活動、文化部活動を段階的に地域移行していく

- ① 休日の部活動については、令和 5 年度から 7 年度を改革集中期間とし、段階的に地域移行していく。
  - ② 平日の部活動については、できるところから段階的に地域移行していく。
  - ③ 令和 8 年度以降の部活動については、進捗状況を検証し、更に改革していく。
- ※ ①～③については、地域スポーツ担当部署、地域スポーツ団体、文化振興担当部署や社会教育など生涯学習担当部署、文化芸術団体、教育委員会、小・中学校等の関係者の理解と協力を得て環境整備していく。

### (2) 実施主体

- ① 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスジム、大学、地域におけるスポーツ及び文化芸術等に親しむ機会を提供している組織・団体 など
- ② 地域学校協働本部、保護者会、同窓会、複数の学校の運動部・文化部が統合して設立する団体など
- ③ スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブを融合した地域スポーツクラブ  
(中学校等の運動部活動も融合していく構想)

### (3) 検討主体

- ① 市の地域スポーツ担当部署、文化振興担当部署、社会教育など生涯学習担当部署、学校の設置・管理運営を担う担当部署（教育委員会）、地域スポーツ・文化芸術団体、学校等の関係者
- ② 市や都道府県の体育・スポーツ協会などの団体、文化振興財団などの団体

### 3 市内中学校部活動の現状と課題

- ◎生徒数の減少や運動部活動加入率の低下等により、各校の部活動規模が縮小している。
- ◎部員数不足による休部・廃部や、他校との合同チームを編成しなければ中総体、新人戦に出場できない学校が増えている。
- ◎部活動指導員の配置等、外部人材の活用により、教員の長時間労働の是正や競技経験のない顧問の負担軽減、指導体制の充実が図られてきているが、十分とはいえない。

#### (1) 部員数等

	令和4(2022)年度 * (H27比)			平成27(2015)年度		
	男女計	男子	女子	男女計	男子	女子
在籍数(人)	2,299(-411)	1,183(-239)	1,116(-172)	2,710	1,422	1,288
運動部員数(人)	1,807(-531)	993(-355)	814(-176)	2,338	1,348	990
運動部加入率(%)	78.6(-7.7)	83.9(-10.9)	72.9(-4.0)	86.3	94.8	76.9
運動部設置数(部)	133(-10)	69(-3)	64(-7)	143	72	71
文化部員数(人)	340	106	234	※文化部・未加入調査は R3開始(H27データなし)		
文化部加入率(%)	14.8	9.0	21.0			
文化部設置数(部)	34	17	17			
未加入数(人)	152	84	68			
未加入割合(%)	6.6	7.1	6.1			

#### (2) 合同チームと休部・廃部等の状況

	中総体	新人戦	休部・廃部
29年度		バスケ女(花北-西南) ソフト(湯本-東和)	ソフト(花巻北)
30年度		野球(花北-矢沢)(大迫-石鳥谷) バレー男(大迫-石鳥谷) バレー女(湯本-西南) ソフト(西南-東和)(*宮野目 不参加)	卓球女(花巻北) 水泳(石鳥谷)
元年度	野球(花北-矢沢) (大迫-石鳥谷)	野球(花北-矢沢)(大迫-石鳥谷) バレー男(花巻-花北) バレー女(南城-湯本) ソフト(矢沢-宮野目)	
2年度	野球(大迫-石鳥谷) ソフト(矢沢-宮野目)	野球(花北-矢沢) バスケ男(湯本-東和) サッカー(花北-矢沢) バレー女(湯本-大迫)	
3年度		野球(花北-矢沢)	野球(大迫) ソフト(宮野目)
4年度	ソフト(花巻-西南)	バレー男女(大迫-石鳥谷) バスケ女(花北-石鳥谷) ソフト(花巻-西南)(湯本-石鳥谷)	

#### (3) 指導者等数

- ①顧問数：145人（1部活動平均：0.9人）
- ②部活動指導員：26人 運動部 25人（部活動数に対する割合 18.8%）文化部 1人（同 2.9%）  
（②は教員と同様に大会引率、監督することができる）
- ③外部指導者：190人 運動部 187人（部活動数に対する割合 140.6%）文化部 3人（同 8.8%）  
（③は単独での指導、監督はできない）
- ④学校管理課外の活動実施：94部活動 運動部 93（同 69.9%）文化部 1（同 2.9%）  
（④は保護者等がボランティア等で平日の夜に行う「保護者会練習」等）

#### 4 花巻市における部活動の地域移行について

##### (1) 基本的な考え方

- 近年の部活動改革は、「学校の働き方改革」が前面に出ている感があるが、その視点からのみをもって改革を推進した結果、生徒のスポーツ・芸術文化活動の機会、質が現状より低下してしまうことは避けなければならない。あくまで生徒の活動をより良いものにしていく改革を目指し、その結果、教員の働き方改革も進んでいくという道筋を考えていくことが大切である。
- 「段階的」とは「条件・準備が整ったところから順次」という意味であり、決して令和5年度から令和7年度までの間に「一斉に」地域移行しなければならないものではないこと。地域の実情に応じ、多くの課題を着実に解決しながら進めていく必要がある。
- これまで学校部活動が大きな役割を担ってきた、生徒の運動・文化芸術活動機会の確保、競技人口の拡大や普及、競技力・技術の向上等について、今後は学校及び教育委員会と生涯学習部、関係諸団体が連携しながら新たな形を構築していく必要がある。各競技・文化団体等においても、それぞれが休日に学校部活動が行われなくなることを前提とした準備を進めていく必要がある。重要な課題となっているのは、市民のスポーツ、芸術環境の整備・充実である。

##### (2) 地域移行後の活動機会

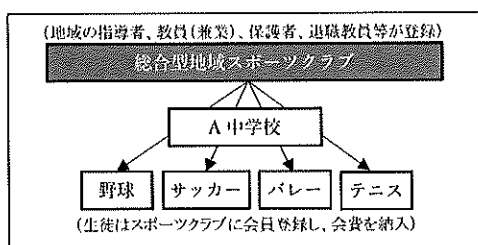
- 休日に学校部活動が行われなくなった際に想定される、地域における中学生の運動・文化芸術活動の機会は次のとおりである。生徒は自身のニーズに応じた活動を任意で選択する。

民間のクラブチーム	野球シニア、サッカークラブ、スイミングクラブ、卓球教室、ダンス教室、等
地域のクラブチーム	スポーツ少年団、道場、総合型地域SC、市体育協会、等
競技団体主催の活動	選抜チーム、年代別強化練習会、〇〇教室、等
地域部活動（仮称）	学校部活動（平日）と連携した活動として、学校教育課・スポーツ振興課や学校がその運営方法等の決定に携わり、保護者会（PTA）、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、競技団体等が運営主体として運営する「地域部活動」（仮称）

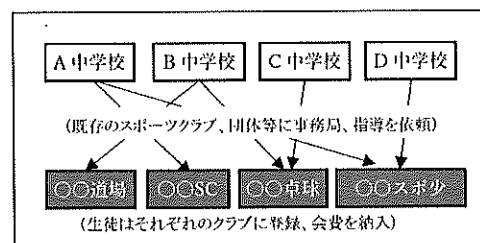
##### (3) 地域部活動の運営主体について【資料3】

- 多様なパターンが考えられるが、先進事例にみられる以下の類型を基本に、学校や地域の実態に応じた移行の形について検討していくこととする。

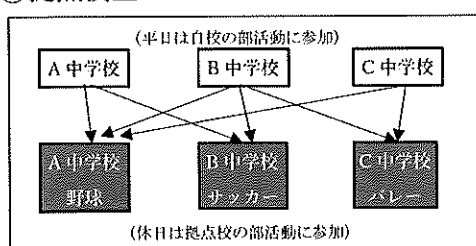
###### ① 総合型地域スポーツクラブ型



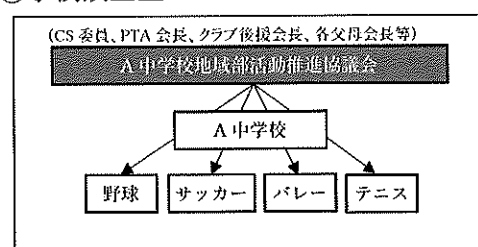
###### ② 単一スポーツクラブ型



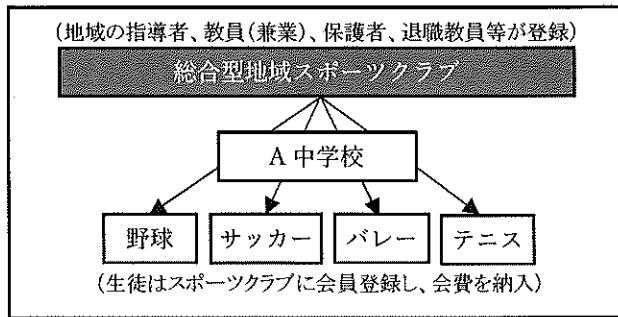
###### ③ 拠点校型



###### ④ 学校設立型

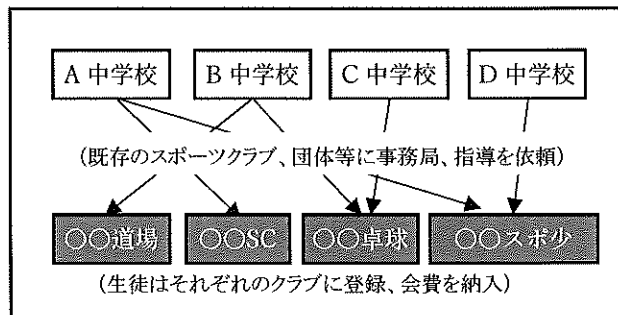


①総合型地域スポーツクラブ型（または公設スポーツクラブ型）



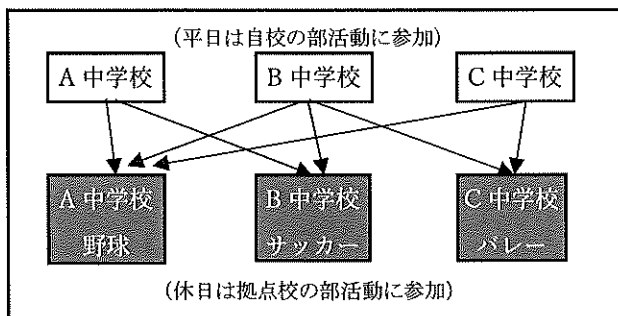
- ・総合型地域スポーツクラブが運営を担い、地域部活動へ指導者を派遣する。
- ・地域の人材、地域の指導者、兼職兼業を希望する教員等が、指導者として所属
- ・スポーツクラブが生徒から会費を徴収し、保険加入、指導者への謝礼支払い、学校との連絡調整等を行う。

②単一スポーツクラブ型（既存団体の活用）



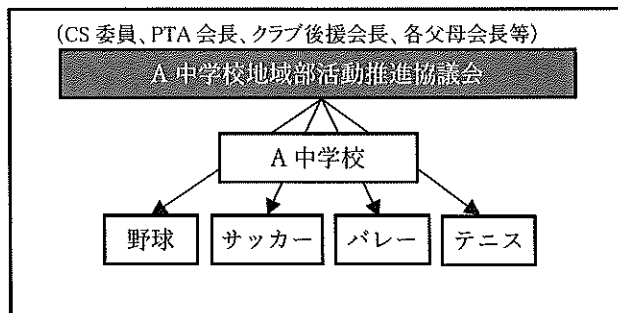
- ・地域に既にあるスポーツクラブ、スポーツ少年団等が運営を担う。(水泳部→スイミングスクールと同じパターン)【資料4】
- ・生徒は学校にない部活動も選択できる。
- ・家庭の負担（会費、移動等）増の可能性、それぞれの事務局と学校の連携が困難になるなどの課題がある。

③拠点校型



- ・競技ごとに拠点校を指定し、専門の指導者を派遣する。学校、市教委、スポーツ振興課、体協、競技団体等が連携して指導者を派遣する。
- ・少子化による部員不足に対応（区域外就学を防止）し、この形での中体連大会出場を模索する（拠点校の活動をクラブ化）。

④学校設立型



- ・学校に既にある父母会（保護者会）活動、スポーツ少年団活動等を統合する団体を学校ごとに組織し、事務局として運営を担い、地域部活動へ指導者を派遣する。
- ・地域の人材、地域の指導者、兼職兼業を希望する教員等が、指導者として所属
- ・会費を徴収し、保険加入、指導者への謝礼支払い、学校との連絡調整等を行う。

## 5 部活動の在り方検討会議における検討課題

項目	意見、課題等	方向性(案)
① 組織・運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の主体となる団体はあるのか</li> <li>・どの部局の管轄下とするか</li> <li>・登録を認めるのは、どこか</li> <li>・学校と地域部活動との関わり方は</li> <li>・学校における地域部活動への窓口は</li> <li>・生徒の多様なニーズに合った活動機会をどう保障するか</li> <li>・活動場所をどうするのか</li> <li>・学校施設を利用する場合の管理をどうするのか</li> <li>・市施設使用の場合の減免措置は可能か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体を既存のスポーツ少年団、父母会、競技団体等に依頼する</li> <li>・移行期は教育委員会が主管し、コーディネーターが実施主体と学校間の調整等を行う</li> <li>・活動場所は学校施設を基本とし、市施設の利用は減免対応とする</li> <li>・教育課程との関連を図る(学習指導要領に記載有)がなくなる流れ(社会体育、生涯学習に移行)</li> </ul>
② 地域部活動への教員の関わりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼職兼業をどこまで認めるか</li> <li>・兼職兼業を認めた場合、手当はどうか</li> <li>・勤務時間の上限をどのようにカウントすべきか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼職兼業を認めないと成立しない(特にも文化部)。自校以外での兼業希望も認めざるを得ない</li> <li>・特殊勤務手当の扱い等は不明</li> <li>・勤務時間調査の項目に兼業分を追加し把握する</li> </ul>
③ 事故への対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故に対応するのはどこか、責任の所在は</li> <li>・救護や連絡の体制をどう整えるか</li> <li>※事故発生時の役割分担を予め明確にし、対応手順等を決めておく必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本スポーツ振興センターの保険が適用外の場合、民間の保険加入は必須</li> <li>・地域部活動中の事故は実施主体の責任において対応</li> </ul>
④ 生徒指導等トラブルへの対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応するのはどこか、責任の所在はどこか</li> <li>・内容や程度によっては、学校生活の関連がある事案もあるため、必要によって学校と連携しながら指導・対応を行うことも想定されるが、その判断や連携の在り方をどうするか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動中の問題は実施主体の責任において対応。生徒指導、保護者対応が必要な事案は、コーディネーター、学校窓口教員と連携しながら対応する</li> </ul>
⑤ 中総体・新人戦大会への出場について 【資料5】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも地域部活動の参加は可能か</li> <li>・複数校合同チームによる団体戦出場について認めるか</li> <li>・参加登録名はどうなるか(学校名か、地域部活動の名称か)</li> <li>・スクールバス等の利用は可とするか</li> <li>・引率責任者は誰とすべきか</li> <li>・教職員(顧問)は必要か</li> <li>・大会運営はどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県・地区中体連の判断となるが、合同チーム以外の複数校生徒による団体戦出場は難しいものと思われる</li> <li>・学校でなく、クラブ等での参加の場合はバス利用不可</li> <li>・実施主体の指導者</li> <li>・教員による運営が必要だが、強制できないか。(振替休日もなし)</li> </ul>
⑥ 部活動指導員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員は、現段階では学校部活動への配置だが、地域部活動の指導者となり得るか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員の扱いがどうかは不明。兼務不可は厳しい</li> </ul>

項目	意見、課題等	方向性(案)
⑦ 指導者の研修・資格について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の質と量を確保できるのか</li> <li>・指導者へどのような研修が必要か</li> <li>・指導者に必要な資格は何か</li> <li>・研修を行う主体はどこか</li> <li>・面談を行って状況を把握したり、生徒の育成方針について共通理解を図る必要はないか</li> <li>・指導者が複数名いる場合でも、全員が資格を所持していなければならないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自で指導者の研修等を行うことは難しい。国や県、競技団体に実施をお願いしたい</li> <li>・平日の部活動を担う顧問(教員)と休日の地域部活動の指導者が指導方針等を確認するよう各校で調整する</li> <li>・有資格者を揃えることは困難</li> </ul>
⑧ 地域部活動への行政の関わり 【資料6】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動は学校とは別の地域の団体ではあるが、どの管轄下となるべきか</li> <li>・現在は地域部活動設置の初期段階であり、教育委員会は担当部署として様々な点で指導・支援を行っていく必要がある。地域部活動への補助金制度はないが、今後の検討課題とする</li> <li>・市スポーツ振興課、市体育協会、市スポーツ少年団等と教育委員会が相互に連携し、研修設定等の地域部活動の活動を支援する必要はないか</li> <li>・学習指導要領から記載がなくなった場合、地域部活動の位置付けはどうなるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領にある部活動の位置付けをどうかするか、議論されている(「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。」。)国の方針次第では、学校教育から生涯スポーツ、生涯学習へ移行することとなる</li> </ul>
⑨ 「花巻市部活動等の在り方に関する方針」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動も本方針を踏まえた対応を行うこととしてよいか(活動時間、休養日、終了時刻等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、方針を踏まえた活動となるよう要請する(補助要件とする)。中体連大会の参加基準</li> </ul>
⑩ 保険加入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事故に対応した日本スポーツ振興センター保険は適用となるかどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不明。おそらく適用外となる</li> <li>・同等の保険加入は必須(自己負担となる)</li> </ul>
⑪ 運営費用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具整備、活動場所使用料、指導者への謝金、保険料等の運営費用をどう拠出するか。</li> <li>・受益者(保護者)負担を基本とするべきか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員並みに、地域部活動の指導者への報酬を支払うことを検討</li> <li>・その他は受益者負担とならざるを得ない</li> </ul>



# 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

## 部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓ 一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

## 持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

## 改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務**であることを踏まえ、**部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築**
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、**休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備**

## 具体的な方策

### I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**  
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
- **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**

### II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との**合同部活動の推進**
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる**ICT活用の推進**
- 主に**地方大会の在り方の整理**（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。



# 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



※公立中学校等（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学校）における運動部活動を対象

意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。</li> <li>○人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年、特に持続可能性という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速化するなど深刻な少子化が進行。 &lt;生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和2年84万人&gt;</li> <li>○競技経験のない教師が指導せざるを得なかつたり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担。 &lt;土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増&gt;</li> <li>○地域では、スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない。</li> </ul>

これまで の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備を進める</li> <li>○学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る</li> <li>○中教審や国会等：「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨指指</li> </ul>
-------------	---

**○少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。**  
**○スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることが本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展・発展、新しい価値の創出。**  
**○地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）**

○まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする

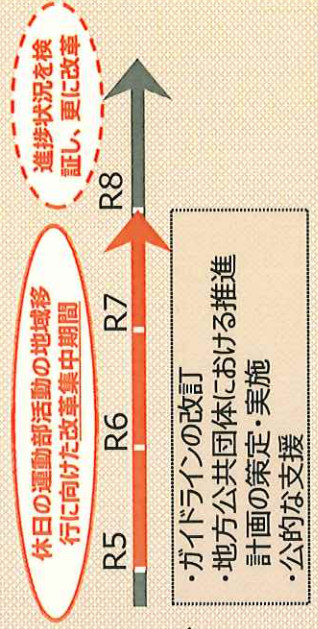
○目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途  
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）

○平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進

○地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む

○地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進

※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識



新たなスポーツ環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体</li> <li>・特定種目だけでなく、生徒の状況に適した機会を確保</li> </ul>	大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会主催者に対し、地域のスポーツ団体等の参加も認めるよう要請</li> <li>・地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して支援</li> </ul>
スポーツ団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供</li> <li>・必要な予算の確保やtooto助成を含む多様な財源確保の検討</li> </ul>	金費や保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困窮する家庭へのスポーツに係る費用の支援方策の検討</li> <li>・スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請</li> </ul>
スポーツ指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者資格の取得や研修の実施の促進</li> <li>・部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク</li> <li>・指導者の確保のための支援方策の検討</li> </ul>	学習指導要領等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討</li> <li>・部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じて多面的に評価</li> <li>・教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価していれば、見直す</li> </ul>
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育施設活用に係る協議会の設置、ルールの策定</li> <li>・スポーツ団体等に管理を委託</li> </ul>		

※国立の中学校等でも、学校等の実情に応じて積極的に取り組むことが望ましい。  
 ※公立及び国立の高等学校等については、義務教育を修了し進路選択した高校生等が自らの意思で選択している実態等があるが、各学校の実情に応じて改善に取り組むことが望ましい。  
 ※私立学校でも、学校等の実情に応じて適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

# 令和3年度地域運動部活動推進事業 (休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究) の状況について

## ＜ 実践研究における主な取組概要について① ＞

都道府県	市町村名	種目	運営団体	指導者	関係団体	概要
茨城県	つくば市	陸上競技 バレーボール ソフトテニス 卓球 野球 剣道 バスケットボール サッカー	・市民団体「洞峰地区文化スポーツ推進協会」 ・総合型スポーツクラブ「つくばFC」	・地域指導者（スポーツクラブ） ・社会人 ・大学生 ・教師（兼職兼業）	・つくばスポーツアカデミー（陸上） ・つくばユニテッドSun GAIA（バレー） ・つくばテニ（ソフトテニス） ・つくば明光卓球クラブ（卓球） ・筑波大学大学院野球コーチング論研究室（野球） ・GROW（バスケット） ・谷田部少年剣友会（剣道） ・B.Cつくば（バスケット）	・校長・PTAを中心に市国クラブを設立し、中学生のスポーツ活動の機会を確保。 ・多様なにわたる地元のクラブチームと連携して、所属の選手が月一回程度、顧問に代わって中学生を指導。
岐阜県	羽島市	野球 剣道 陸上 ソフトテニス	はしまなごみスポーツクラブ	・地域指導者（総合型クラブ） ・大学生 ・教師（兼業兼職）	・羽島市スポーツ協会 ・岐阜聖徳学園大学	・原則、すべての運動部活動の休日活動をクラブ化。 ・生徒のクラブへの加入は希望制。 ・平日の部活動や休日の大会参加は、引き続き学校の部活動として実施。
山口県	周南市	軟式野球 ソフトテニス バレーボール 卓球	周南市教育委員会	・社会人（自営業・民間企業等） ・教師（兼職兼業） ・部活動指導員	・周南市体育協会 ・周南市首長部局関係課 ・秋月中学校区地域教育ネット ・秋月中学校PTA組織	・教育委員会が中心となり、関係団体と連携して拠点校の全運動部で休日の部活動の地域移行を実施。 ・地域指導者には、運営主体が主権し、研修会を実施。
富山県	南砺市	バドミントン ソフトテニス なぎなた ソフトボール	南砺市体育協会	社会人	関係競技団体	・地域の体育・スポーツ団体等による小学校段階から中学校段階までの一貫した指導体制の構築を目指す。 ・休日における部活動や域内大会への参加（引率）を地域の指導者が担い、顧問教員が関わらない方について実証し、課題を整理。

# 令和3年度地域運動部活動推進事業 (休日部の活動の段階的な地域移行に関する実践研究) の状況について

## ＜ 実践研究における主な取組概要について② ＞

都道府県	市町村名	種目	運営団体	指導者	関係団体	概要
④ 民間スポーツ事業者	東京都 日野市	陸上競技 バスケットボール	スポーツデータバンク(株)	・地域指導者(コニカミルタ) ・民間指導者(Bjアカデミー)	・コニカミルタ(株) ・(一社)bjアカデミー ・日野市体育協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業の協力を得て、実業団で競技経験を有する社員が主に土曜日に中学生を指導。</li> <li>・部活動の顧問と緊密な連携を図りつつ、顧問に代わり指導を実施。</li> </ul>
⑤ 競技団体	新潟県 長岡市	バスケットボール サッカー 軟式野球 柔道 ソフトテニス バドミントン	・長岡市バスケットボール協会 ・長岡市サッカー協会 ・長岡市野球協議会 ・長岡市柔道連合会	・地域指導者(競技団体) ・地域指導者(企業チーム) ・教師(兼職兼業) ・部活動指導員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市学校教育課</li> <li>・長岡市スポーツ振興課</li> <li>・(公財)長岡市スポーツ協会</li> <li>・ヨネックス株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教委、市スポーツ所管課、市スポーツ協会の連携・調整を図る職員を配置。</li> <li>・関係団体横断型で、市における地域部活動を実施。</li> <li>・地元企業(ヨネックス)と連携した指導者派遣を実施。</li> <li>・長岡市スポーツ活動ガイドライン「NAGAOKA SPORTS Compass」に基づく活動の実施。</li> </ul>
⑥ その他 (地域学校協働本部)	滋賀県 彦根市	バスケットボール 剣道 ソフトテニス 卓球	中学校区支援地域協議会	地域指導者(スポ少指導者) 退職教員 部活動指導員	彦根市体育協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域学校協働本部」において、地域のスポーツ団体等の協力を得ながら、「土曜日・放課後活動」の一環として実施することで、今後地域部活動をどの学校でも実践するための方向性を示す。</li> </ul>

# 運動部活動の地域移行に係る先行事例



## 東京都日野市

- ・ 地元企業の協力を得て、実業団で競技経験を有する社会人が主に土曜日に中学生を指導
- ・ 部活動の顧問と緊密な連携を図りつつ、顧問に代わり指導を実施

運営主体：日野市教育委員会  
 活動場所：日野第二中学校（生徒数501人）、三沢中学校（生徒数741人）  
 活動頻度：週に1回（主に土曜日）  
 指導者：社会人（実業団選手・元選手）、スポーツ団体指導者  
 謝金：指導者2,252円/1時間（交通費380円/1日）  
 参加者：75名  
 参加費：0円  
 協力：エニカミルタ（株）、日野自動車株式会社、（一社）bjアカデミー、スポーツデータバンク（株）等

## 富山県朝日町立 朝日中学校

- ・ 令和3年4月から、学校部活動の一部を地域クラブの活動に移行
- ・ 地域クラブ活動の指導者は、原則、従来より学校部活動の指導に関わっている部活動指導員・スポーツエキスパート・競技協会員であり、学校部活動との連携に取り組む

運営主体：朝日町型部活動コミュニティクラブ  
 活動場所：朝日中学校（生徒数211人）、隣接する町体育施設（体育館、武道館、屋内・屋外グラウンド、テニスコートなど）  
 活動頻度：週1～3回（平日1～2回、休日1回）  
 競技種目：バスケットボール、柔道、剣道、卓球、陸上、バレーボール、ソフトテニス  
 指導者：地域指導者（部活動指導員、スポーツエキスパート、競技協会員）  
 謝金：6,000円/月 参加者：約130名 参加費：0円

## 岐阜県羽島市立 竹鼻中学校

- ・ 令和3年4月から、休日の運動部活動を総合型地域スポーツクラブの活動に移行
- ・ 休日における活動は、希望する生徒のみが参加
- ・ 平日の部活動や休日の大会参加は、引き続き学校の部活動として実施

運営主体：総合型地域スポーツクラブ（はしまなごみスポーツクラブ）  
 活動場所：竹鼻中学校（生徒数563人）、地域のグラウンド等  
 活動頻度：休日  
 競技種目：野球、サッカー、男女テニス、男女バスケットボール、男女バレーボール、陸上、卓球、剣道、柔道  
 指導者：クラブの指導者、外部指導者（保護者など）  
 謝金：1,000円/1回  
 参加費：500円程度/月（別途要保険料）  
 参加者：300名程度

## 大分県大分市立 野津原中学校

- ・ 令和3年4月から、休日のみならず平日を含めた全ての運動部活動を段階的に総合型地域スポーツクラブに移行
- ・ 中体連主催の大会については、引き続き学校部活動として参加
- ・ 休日の練習試合等はクラブの活動として参加

運営主体：総合型地域スポーツクラブ（NPO法人七瀬の里NSスポーツクラブ）  
 活動場所：野津原中学校（生徒数63人）  
 活動頻度：平日4日、休日1日  
 競技種目：硬式テニス、男子バスケットボール、女子バレーボール  
 指導者：クラブの指導者  
 謝金：1,600円/1時間  
 参加者：25名  
 参加費：0円

## 令和4年度花巻市スポーツ少年団

登録団員	58団	
団員	1,216名	(男子742名 女子474名)
	{	幼児 6名 (男子 2名 女子 4名)
		小学生 913名 (男子 582名 女子 331名)
		中学生 294名 (男子 158名 女子 136名)
		15歳以上 3名 (男子 0名 女子 3名)
指導者	223名	(男子198名 女子 25名)
役員・スタッフ	104名	(男子 83名 女子 21名)

### ◎学年別

#### 幼小(1団)

38 花巻柔道

#### 小学生(31団)

2 花北少年剣友会	62 宮野目サッカー
6 花巻サッカー	72 大迫バレーボール
7 若葉野球クラブ	73 八幡ミニバスケットボール
8 松園ファイターズ	75 ノーザンライズFC
13 桜台ミニバス	79 花巻ノーススピリッツ
14 花巻JSC	80 石鳥谷野球
16 花巻銀河ジュフットボールクラブ	83 田瀬
19 花巻西南	87 東和野球
22 宮野目野球	96 東和クリエイターズ
35 花巻ミニバスケットボール	101 矢沢ソフトボール
42 湯口ファイターズ	105 東和バレーボール
43 矢沢ミニバス	118 東和シャトルズ
47 湯本ビクトリーズ	120 矢沢野球
49 花巻レジェンズ	133 湯口ミニバス
52 西南地区花巻西南野球	135 矢沢STC
57 花巻バレーボール	

#### 幼小中(3団)

23 湯本剣道	127 矢沢武士道館
88 東和柔道	

#### 小中(11団)

3 南城	104 湯本ソフトテニス
20 湯口剣道	109 道地橋剣道
26 不岐館剣道	115 東和サッカー
44 晨武館	126 湯口ソフトテニス
70 大迫柔道	130 琢磨会東和支部
78 石鳥谷アイスホッケー	

小15才～(1団)

106 石鳥谷フィギュアスケティングクラブ

中学生(11団)

15 宮野目剣道	94 東和中バスケットボール
28 花巻北中剣道部錬心館	119 東和専心館
34 南城中学校剣道	132 花北FSC
61 西南中学校	137 東和中ソフトボール
89 東和中野球	138 花北バスケットボール
92 東和中ソフトテニス	

◎種目別

サッカー	(5団)	小学生(4団) 小中学生(1団)	男子103名 男子6名	女子10名 女子2名
剣道	(10団)	小学生(1団) 小中学生(4団) 中学生(4団) 幼小中学生(1団)	男子2名 男子21名 男子30名 男子7名	女子2名 女子24名 女子18名 女子4名
野球	(11団)	小学生(10団) 中学生(1団)	男子160名 男子15名	女子8名
ミニバス	(5団)	小学生(5団)	男子73名	女子62名
ソフトボール	(4団)	小学生(3団) 中学生(1団)		女子46名 女子24名
柔道	(4団)	小学生(1団) 小中学生(1団) 幼小中学生(2団)	男子14名 男子8名 男子13名	女子5名 女子2名 女子13名
フィギュアスケート	(1団)	小15才(1団)	男子0名	女子5名
ソフトテニス	(5団)	小学生(1団) 小中学生(2団) 中学生(2団)	男子6名 男子25名 男子29名	女子12名 女子43名 女子20名
バレーボール	(2団)	小学生(2団)	男子18名	女子14名
バスケットボール	(2団)	中学生(2団)	男子27名	
バトミントン	(1団)	小学生(1団)	男子6名	女子7名
アイスホッケー	(1団)	小中学生(1団)	男子17名	女子4名
空手	(1団)	小中学生(1団)	男子5名	女子5名
多種目	(6団)	小学生(4団) 小中学生(1団) 中学生(1団)	男子86名 男子71名	女子74名 女子53名 女子17名

全国中学校体育大会への地域スポーツ団体等の参加資格について

「全国中学校体育大会開催基準 9 引率監督 参加資格の特例」に下記のを追加し、参加条件としましたのでお知らせいたします（大会参加について、令和5年度からとなります）。

◎地域スポーツ団体等に所属する中学生

(1) 地域スポーツ団体等に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

(2) 全国中学校体育大会に参加を希望する地域スポーツ団体等は以下の条件を具備すること。

① 全国中学校体育大会の参加を認める条件

ア (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。

ウ 地域スポーツ団体等にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

エ 『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（平成30年3月スポーツ庁発出）の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休養日等の設定」を遵守していること。

オ 都道府県中学校体育連盟に加盟もしくは認定されていること（加盟費については、都道府県中学校体育連盟の判断に委ねる）。

カ 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

キ 地域スポーツ団体等で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

② 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

ア 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 全国中学校体育大会参加に際して、地域スポーツ団体等においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること（引率細則は適用する）。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

ウ 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

エ 団体競技における地域スポーツ団体名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

③ 参加を認めない場合

ア 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。

※2 この特例は、競技部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 この特例は、今後も検討を続けていく。

# 地域部活動推進事業

## ～休日の部活動を推進するための環境整備～

令和5年度要求・要望額 8,172千円  
(前年度 0円) 学校教育課

### 方向性・目指す姿

- 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向け、スポーツ・芸術文化団体等との連絡調整や指導者の派遣管理等を行う。
- 学校と地域が協働・融合した形で地域の地域におけるスポーツ・芸術文化活動のための環境を整備し、生徒の活動をより良いものにしていく。

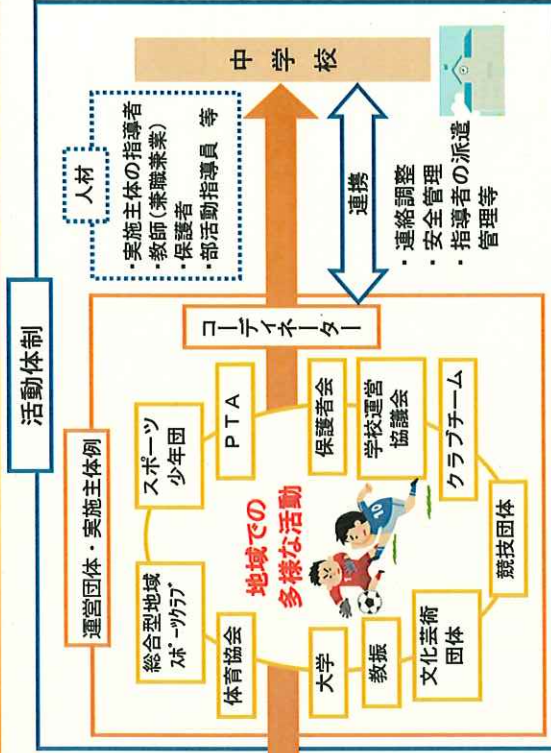
### 背景

- 少子化の中でも、将来にわたり花巻市の子どもたちが多様なスポーツ・芸術文化活動に継続して親しむことができる機会を確保する必要性。
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を推進し、学校教育の質的向上を図る必要性（休日の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこと）。

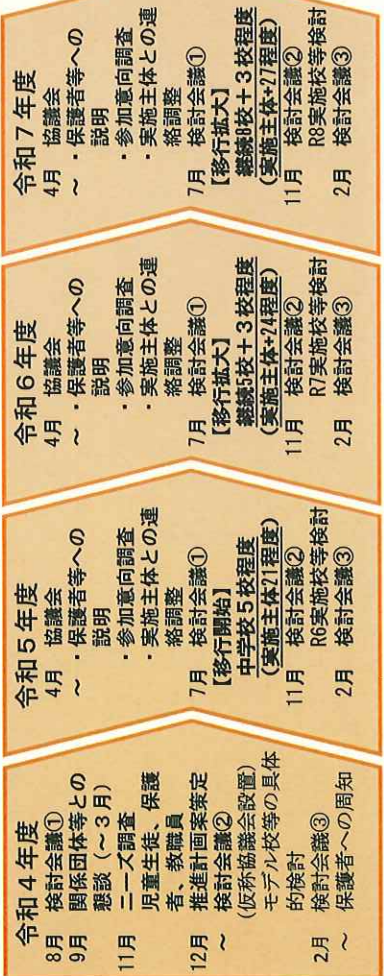
### 事業内容

- 1 地域部活動コーディネーターの配置 2,509千円(新規)**
  - 地域部活動の運営団体・実施主体と中学校との連絡調整・安全管理、指導者の派遣管理等を行う（仮称）地域部活動コーディネーターを配置する。
  - 地域部活動の運営団体・実施主体の整備充実のため、運営体制の整備や質の確保に係る取組等を支援する。  
(会計年度任用職員1名の報酬、手当、旅費等2,509千円。国・県の補助未定)
- 2 地域部活動移行に向けた環境整備 5,663千円(新規)**
  - 実技指導等を行う指導者（仮称：スポーツ指導員）を配置する。
    - 1 運営団体・実施主体につき、謝金相当額168千円を補助。R5は21団体を想定。  
・時給1,600円×3時間×35回分(週1日)＝168,000円
    - ・21団体×168千円＝3,528千円 (R6は24団体、R7は27団体を想定)
  - 地域部活動推進事務局を設置し、補助金の支払いに係る事務手続きや指導者リスト（人材バンク）の作成を行う  
(会計年度任用職員1名の報酬、手当等2,135千円)

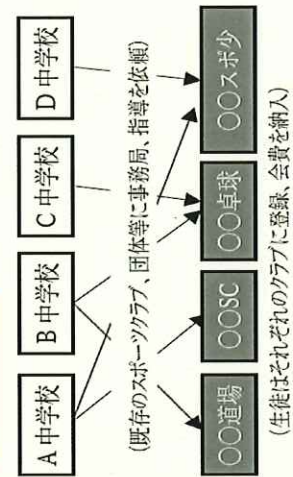
### 枠組み



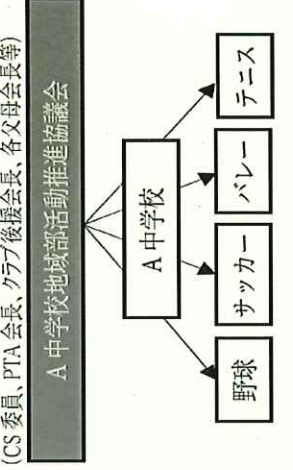
### スケジュール



### 体制例①



### 体制例②



※スポーツ庁は令和5年度概算要求で、コーディネーターや指導者の配置支援、実施主体の整備支援に係る予算を計上している。（補助割合：国1/3、県1/3、市町村1/3）



# 令和4年度花巻市 部活動に関するアンケート

## 調査結果の概要

(令和4年12月22日版)



**調査目的** 市内小中学校の児童生徒・保護者および中学校教員の部活動等に関する実態や意見を把握し、今後の部活動のあり方について検討するための資料とする。

<b>調査対象</b>	・小学校17校 5・6年児童	回答者数	918人
	・中学校11校 1～3年生徒	回答者数	2,064人
	・小学校17校 5・6年生の保護者	回答者数	814人
	・中学校11校 1～3年生の保護者	回答者数	872人
	・中学校11校 教員（講師等除く）	回答者数	132人

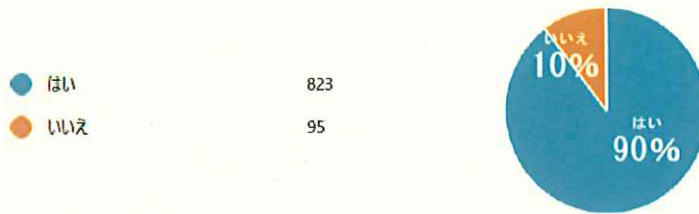
**調査期間** 令和4年11月7日（月）～11月25日（金）

**実施機関** 花巻市教育委員会学校教育課

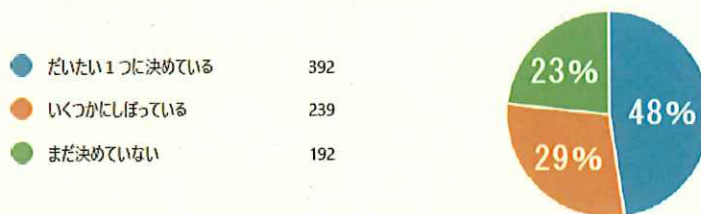
結果の概要

小学校5・6年 児童 (n=918)

Q6. 中学生になったら部活動に入ろうと思っていますか。(1つ選択)

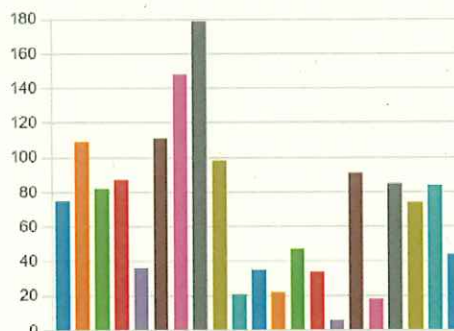


Q7. 中学生になったら何部に入るか決めていきますか。(1つ選択)

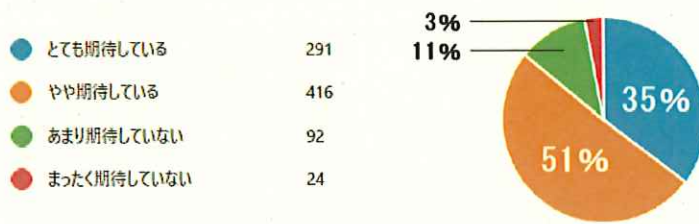


Q8. 中学生になったら入ろうと思っている部活動を選んでください。迷っている部活動や、興味・関心がある部活動も含みます。(2つ以上選んでもいいです)

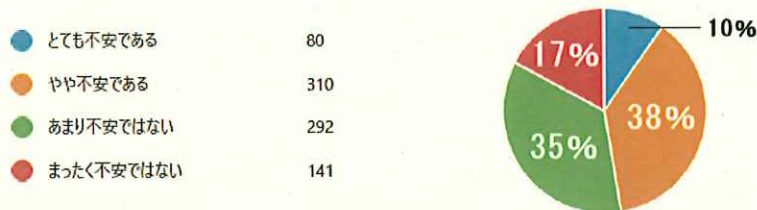
● 陸上競技、駅伝	75
● バスケットボール	109
● サッカー	82
● 野球	87
● ソフトボール	36
● バレーボール	111
● テニス、ソフトテニス	148
● バドミントン	179
● 卓球	98
● 体操、新体操	21
● 剣道	35
● 柔道	22
● 水泳	47
● スキー、スケート	34
● ラグビー	6
● 吹奏楽	91
● 合唱	18
● 総合文化、美術	85
● パソコン、科学	74
● 家庭科(料理・手芸など)	84
● その他	44



Q 9. 中学校の部活動について、あてはまるものを選んでください。(1つ選択)



Q 10. 中学校の部活動について、あてはまるものを選んでください。(1つ選択)



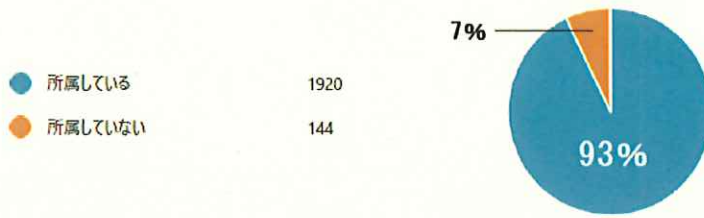
Q 11. (Q 6 でいいえと答えた人だけ答えてください) 中学校の部活動に入らない理由について書いてください。  
(硬式野球などクラブチームで活動したいからという人は、そのことを具体的に書いてください。)

理由に書かれていた主なもの

- ・クラブチームで活動したいから (野球、バスケットボール、サッカー、硬式テニス、女子野球)
- ・今やっていることを続けたいから (水泳、スケート、テニス、バレエ、ダンス、空手、ボクシング、塾、習いごと)
- ・将来の目標 (KPOP アイドル) のための練習をしたいから
- ・運動が得意ではないから
- ・入っても選手になれないと思うから
- ・(入学予定の中学校には) 入りたい部活動がないから
- ・宿題など勉強を優先したいから
- ・早く家に帰りたいから
- ・弟の世話があるから
- ・面倒くさいから

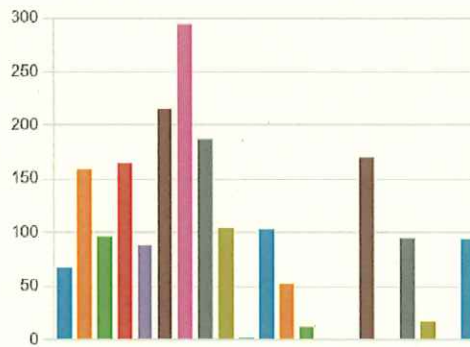
中学校 1～3年 生徒 (n=2,064)

Q4. あなたは部活動に所属していますか。3年生は所属していましたかと読み替えてください。(1つ選択)

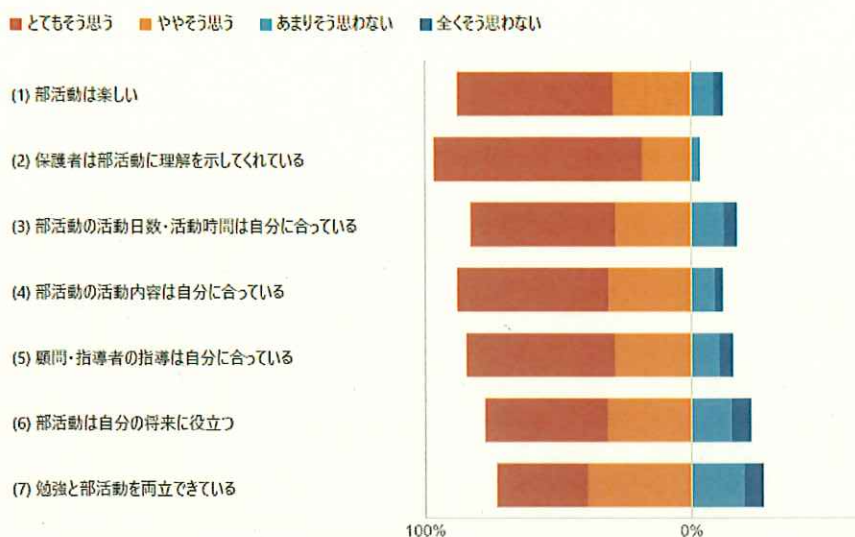


Q5. あなたが所属している部活動を選んでください。3年生は所属していた部活動と読み替えてください。(1つ選択)

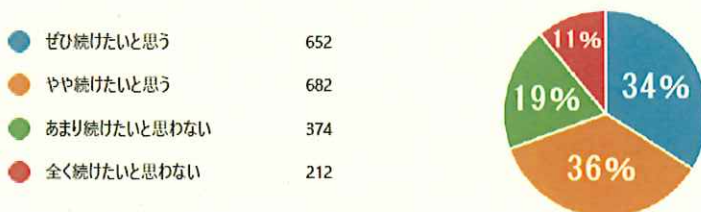
陸上競技、駅伝	67
バスケットボール	159
サッカー	96
野球	165
ソフトボール	88
バレーボール	215
テニス、ソフトテニス	294
バドミントン	187
卓球	104
体操、新体操	2
剣道	103
柔道	52
水泳	12
スキー、スケート	0
ラグビー	0
吹奏楽	170
合唱	0
総合文化、美術	95
パソコン、科学	17
家庭科(料理・手芸など)	0
その他	94



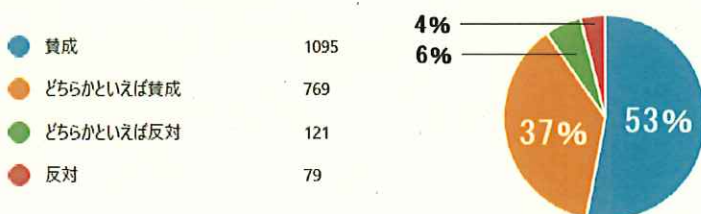
Q 6. 部活動について、(1)～(7)のそれぞれにおいてあてはまるものを選んでください。3年生は活動していた頃について教えてください。(それぞれ1つ選択)



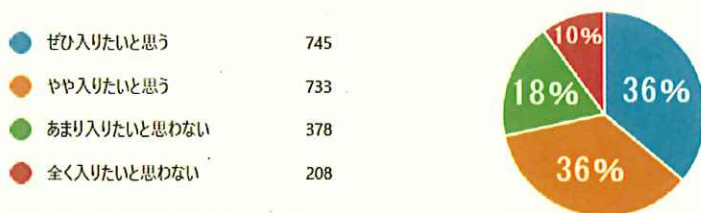
Q 7. 中学校の部活動で取り組んでいる（取り組んできた）活動を、中学校卒業後も続けたいと思いますか。(1つ選択)



Q 8. (全員が回答) 現在の学校部活動を、地域の部活動（地域の指導者や、希望する教員などが指導する活動）が担うことについてどう思いますか。(1つ選択)

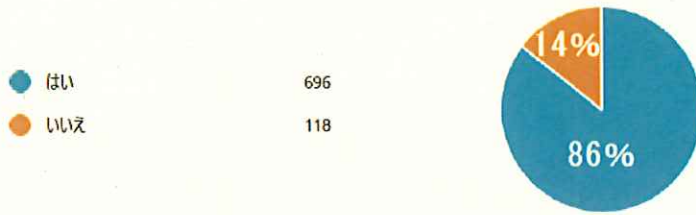


Q 9. (全員が回答) 自分がやってみたい種目の活動ができる地域クラブがあれば、入りたいと思いますか。(1つ選択)

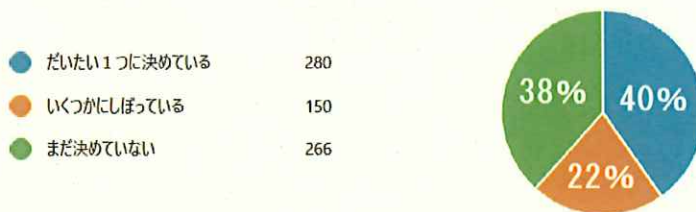


小学校5・6年児童の保護者 (n=814)

Q4. お子さんは中学生になったら部活動に入ろうと思っていますか。(1つ選択)

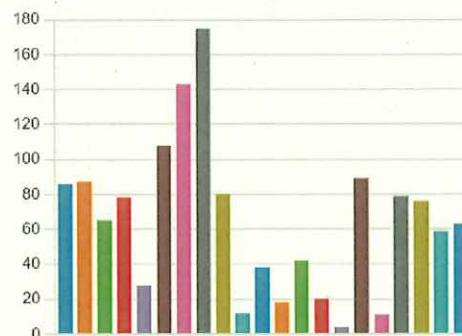


Q5. お子さんは中学生になったら何部に入るか決めていきますか。(1つ選択)

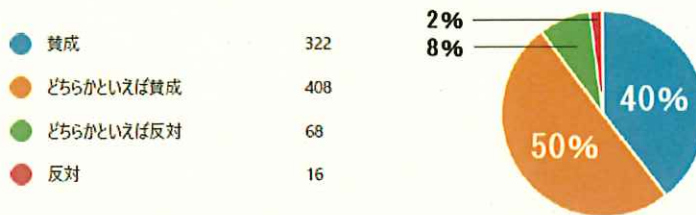


Q6. お子さんが中学生になったら入ろうと思っている部活動を選んでください。迷っている部活動や、興味・関心がある部活動も含みます。(2つ以上選んでもかまいません)

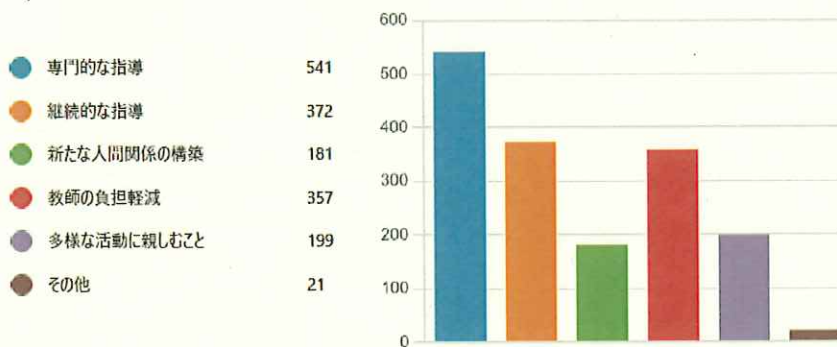
● 陸上競技、駅伝	86
● バスケットボール	87
● サッカー	65
● 野球	78
● ソフトボール	28
● バレーボール	108
● テニス、ソフトテニス	143
● バドミントン	175
● 卓球	80
● 体操、新体操	12
● 剣道	38
● 柔道	18
● 水泳	42
● スキー、スケート	20
● ラグビー	4
● 吹奏楽	89
● 合唱	11
● 総合文化、美術	79
● パソコン、科学	76
● 家庭科(料理・手芸など)	59
● その他	63



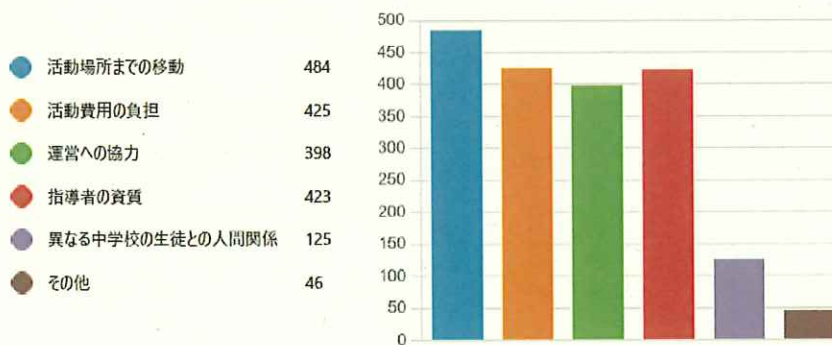
Q 7. (全員が回答) 現在の学校部活動を、地域の部活動 (地域の指導者や、希望する教員などが指導する活動) が担うことについてどう思いますか。(1つ選択)



Q 8. (全員が回答) 学校部活動を地域の部活動が担うことについて、どのようなことを期待していますか。(複数選択可)



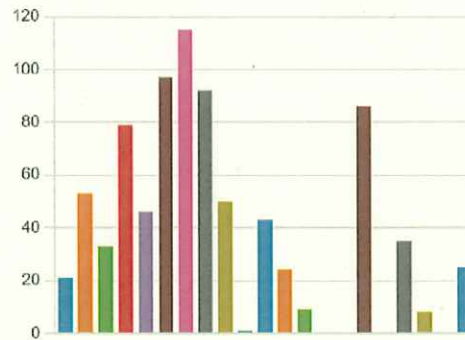
Q 9. (全員が回答) 学校部活動を地域の部活動が担うことについて、どのようなことを心配していますか。(複数選択可)



## 中学校 1～3年生徒の保護者 (n=872)

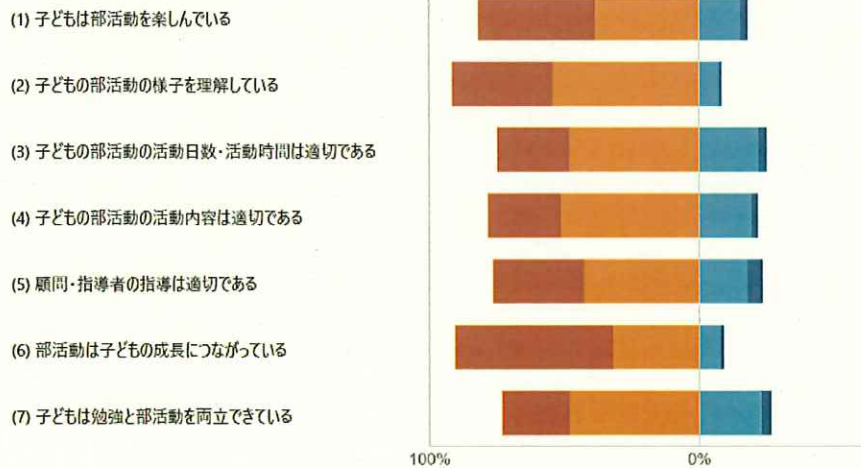
Q5. お子さんが所属している部活動を選んでください。3年生は所属していた部活動と読み替えてください。  
(1つ選択)

陸上競技、駅伝	21
バスケットボール	53
サッカー	33
野球	79
ソフトボール	46
バレーボール	97
テニス、ソフトテニス	115
バドミントン	92
卓球	50
体操、新体操	1
剣道	43
柔道	24
水泳	9
スキー、スケート	0
ラグビー	0
吹奏楽	86
合唱	0
総合文化、美術	35
パソコン、科学	8
家庭科 (料理・手芸など)	0
その他	25



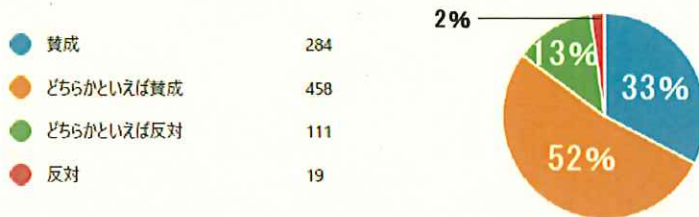
Q6. お子さんの部活動について、(1)～(7)のそれぞれにおいてあてはまるものを1つ選んでください。お子さんが3年生の場合は、活動していた頃についてお答えください。(それぞれ1つ選択)

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

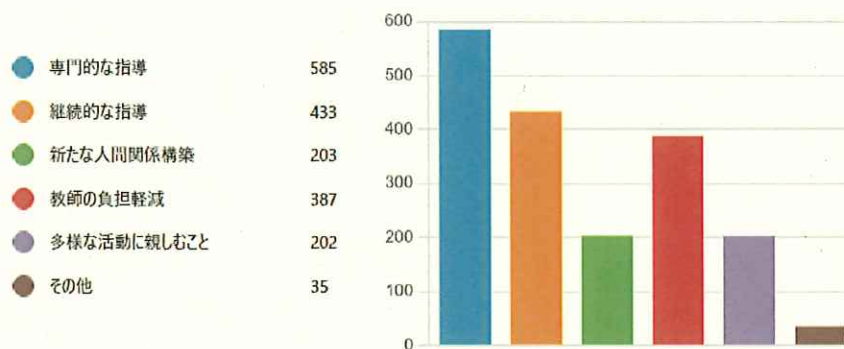




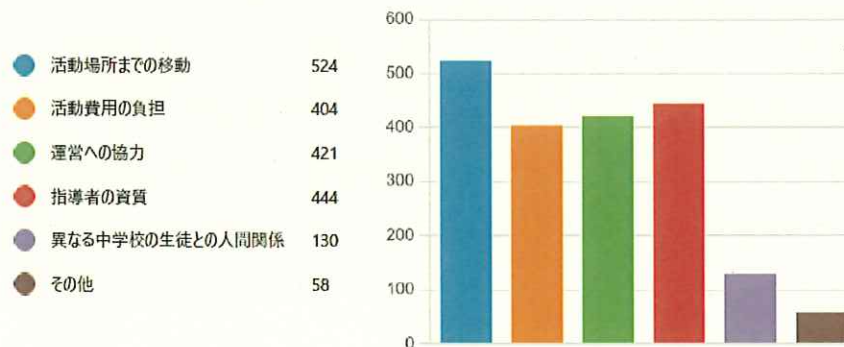
Q 7. (全員が回答) 現在の学校部活動を、地域の部活動(地域の指導者や、希望する教員などが指導する活動)が担うことについてどう思いますか。(1つ選択)



Q 8. (全員が回答) 学校部活動を地域の部活動が担うことについて、どのようなことを期待していますか。(複数選択可)

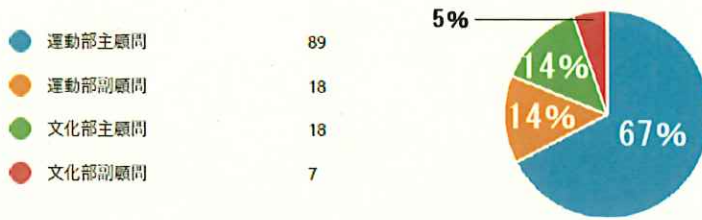


Q 9. (全員が回答) 学校部活動を地域の部活動が担うことについて、どのようなことを心配していますか。(複数選択可)

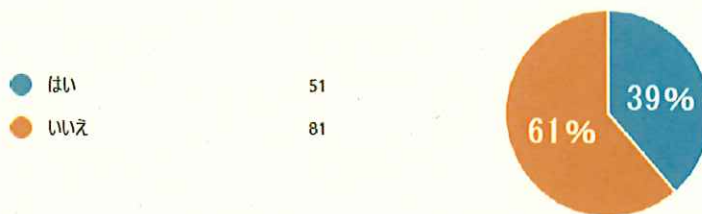


中学校教員（講師等除く）（n=132）

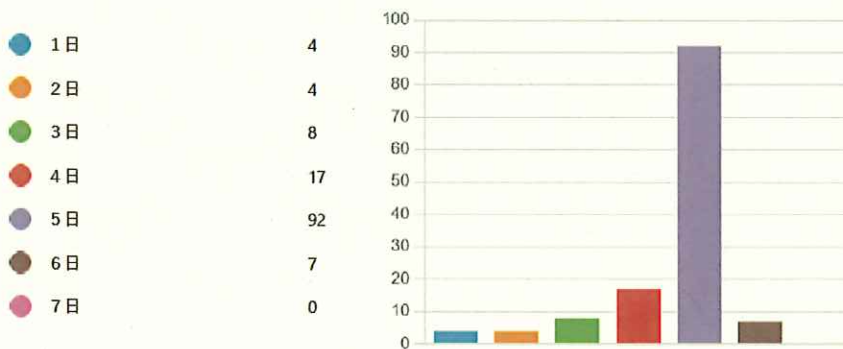
Q5. 現在（今年度）の部活動の担当を選んでください。（1つ選択）



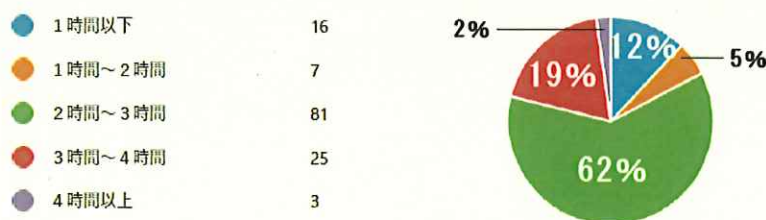
Q6. 現在担当している部活動は、あなた自身が生徒・学生の時に所属・活動していた部活動でしたか。（1つ選択）



Q7. 担当している部活動の1週間の平均活動日数を選んでください。土日祝日の活動も含まれます。（1つ選択）

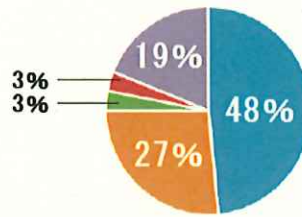


Q8. 担当している部活動の休日（土日祝日）の平均活動時間を選んでください。（1つ選択）



Q 9. 担当している部活動は、外部指導者との連携は図られていますか。(1つ選択)

● とても図られている	64
● やや図られている	35
● あまり図られていない	4
● 全く図られていない	4
● 外部指導者を活用していない	25



Q 10. 担当している部活動の問題・課題について、(1)～(5)のそれぞれにおいてあてはまるものを選んでください。(それぞれ1つ選択)

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

- (1) 自分は専門的な指導力を有している
- (2) 部活動の生徒と良好な関係を構築している
- (3) 部活動の生徒の保護者と良好な関係を構築している
- (4) プライベートの時間は確保できている
- (5) 教材研究の時間を確保できている

